2013年新春 藤本語録

A HAPPY NEW YEAR

▼早いもので、お母さん大学をスタートさせて、もう5年が過ぎる。カタチのないお母さん大学。一人ひとりのお母さんの心の中にある学びの場。キャンパスは家庭、先生はわが子。何も教えてくれない大学。ただペンを持て、地域でアクションして、と。おかげで、学生はなかなか増えない。正直、心が揺らぐときもある。そんなときに、お母さん大学のお母さんたちが、私に教えてくれる。大切なことは見えないよと。それが、私が初心に返るとき。いつしか、みんなが私の先生に。いくつか抜粋して紹介する。

▼「今の気持ち」（打海加奈子）より抜粋。お母さん業は、大変なことも悩むこともたくさん。寒い冬だからこそ、裸の自分で。お母さんだからこそ、感じるままに。今できることをする。それだけでいいのかもしれない。悩みの答えはその先に、コロっと転がっているのかもしれない。最強の味方であり、最高の先生である、子どもたちが見ていてくれる。お母さん大学の学舎は家庭。

▼「横浜市営地下鉄の中山駅で」（松村宏美）より抜粋。「あの、突然すみません。この新聞なんですが、今見たら新聞をとてもきれいに並べてくださっているのを見て、一言お礼が言いたくて。ありがとうございます」。すると駅員さんは「あぁ、この新聞、毎月送られてくるので、一部ずつ折って並べているんです」。駅員さんが新聞をとても大切に扱ってくださっているのだと知って、とてもうれしく、駅員さんには感謝の気持ちでいっぱいになりました。

▼「安心して子育てできる地域づくり」（厚海有美）より抜粋。「子どもが小さいうちは、まだいいんです。いつ何が起こっても、お母さんが抱きかかえて、子どもを守ることができるから。でも、小学生になって、一人で外を歩くようになったら、誰が子どもを守れますか？」藤本さんの講演会で、その話を聞いた時、娘はまだ1歳。正直いって、そのときはあまりピンときませんでした（ごめんなさい！）。でも気がついたら、あんなに小さかった娘も、あとちょっとで1年生。学校だって、親から離れて一人で通うわけだし、放課後は一人で公園や、お友だちの家に遊びに行くこともあるでしょう。さあ、いよいよ、あのときの私にはピンと来なかった、あの未来が近づいてくる。

▼静かに、ゆるやかに、目に見えないところで、お母さん大学生たちは、どんどん母力を上げている。ただペンを持ち、「お母さんはスゴイ！ お母さんはスゴイ！」とお経のように唱えているだけなのに（笑）。いえ、それだけではない。「お母さんの心」が磨かれると、自分のことだけではなく、人や地域を意識し、誰かのためにできることを考える。お母さん大学生たちのアクションは、レンコンのように、根っこがつながっている。

▼養護施設の3歳の男の子。母親が日常的に父親からの暴力を受けている家庭で育った。施設では「バカ、死ね、出て行け」と悪態をつく。3歳といえば、かわいい盛りなのに。だが夜中に、布団の中で「ママを助けて」と寝言をいうのだと。幼心に母を想う気持ちがたまらない。その子をやさしく包んであげられるのは、お母さん。そばにいるだけで、ただそれだけでいいのに。同じ3歳の孫を見ながら、すべての子どもの心に、お母さんの愛が届くようにと祈った。

▼お母さん大学と旭化成ホームズの共同研究で誕生した、子育て共感賃貸住宅「ヘーベルメゾン母力」。1棟目は昨年10月、武蔵野市吉祥寺に完成し、すでに22組の家族が笑顔で暮らしている。お母さんの笑顔にとことんこだわった住まい。ある意味「母力」は、カタチのないお母さん大学が「住まい」というカタチになって実現したのかもしれない。住民のお母さんたちは、もうずっと前から知り合いだったかのように、お互いに助け合い、学び合い、小さな母力コミュニティをつくり始めている。お母さんはスゴイ！

▼昨秋、福井県大飯町にある水上勉氏のふるさと「若州一滴文庫」を訪ね、今は亡き氏に思いを馳せた。氏との出会いは、『ブンナよ、木からおりてこい』という一匹の蛙が主人公の童話。昨年、劇団青年座が東京新国立劇場でブンナを上演するにあたり、とにかくたくさんの親子に観てほしいと、お母さん大学主催公演を開いた。売れっ子作家となった氏は、貧しかった子ども時分の経験から、貧しくて本が読めない子どもらのためにと一滴文庫を創設。いまどきは、貧しくて本が読めない子などいない。文豪・水上勉は、貧しかったからこそ誕生した。豊かな時代に生きる子は、たくさんのチャンスを失っているのかもしれない。

▼暮れに、一人のお母さん大学生が自宅に「家庭文庫」をオープンした。名前を「さかみち文庫」というが、その名の通り、坂道を登ったり降りたり、そんな場所なのでお客様は超ご近所さんだけらしい。「わが家の坂道は通学路なので、子どもたちがぱたぱた（坂道を走る音）～ってやってくる」。時を超えて、水上氏のやさしさと、このお母さんのやさしさが重なった。地域の子どもたちは、やさしい大人たちに、「やさしさ」を学ぶのだろう。

▼シニア向けの講演会で参加者に聞いた。知らない親子が「ピンポーン！」とやって来ました。さてあなたはどうしますか？ そのときのみんなの反応が面白かった。今は、人が人を信用できない時代。ピンポンの主は、怪しい人ではないか、宗教ではないか、モノ売りではないかと、誰もがまずは疑ってかかる。映画「ペーパームーン」の親子（ペテン師）ではない、フツーの母子なのに。信頼できない人間関係の中で育った子どもは、将来、人を信頼しない人間に育つ。だからこそ、地域づくりの主人公は、お母さん、パートナーはシニア。

▼地域の子育て支援者が、新米お母さんを訪問する制度があるが、反対に、新米お母さんが、地域のお宅にピンポーンして歩くのはどうだろう。人生の先輩のお話は、生きた学問であり、生活の知恵がたくさん。明日、あそこの親子が来るかもしれない！と、ワクワクするシニアたち。玄関には、その日のためにいつもお菓子が用意されている。そんな地域を願う。

▼ある保育園で、給食のおばちゃん（調理員）が園児の給食を食べていて問題になった。調理員は給食費を払っていないから食べてはいけないのだと。またまた「常識」に驚いた。自分がつくった、園児と同じモノを食べる。これ、調理員の仕事ではないか。おばちゃんは、子どもたちが笑顔で食べる姿を描きながら調理し、子どもたちは、つくってくれるおばちゃんに感謝しながら給食をいただく。居酒屋でアルバイトをしているスタッフ青柳の息子。「今日は店で賄いが出た」とうれしそう。お客様に店の味を説明する立場の人間としては、賄い食も大切な情報だ。最近は飲食店でメニューを尋ねても、まともな答えが返ってきたためしがない。みんなバイト感覚。私が給食のおばちゃんだったら、そんなバカなことを言う人間には、子どもと同じモノを食べ毒見をしているのだと言ってやろう。

▼あるまちの子育て講演会に呼ばれた。参加者300人。1部は市長挨拶に続き、子育て支援者の表彰式典だった。2部は私の講演。舞台に立つと、前2列の席はガラリ。全体を見渡しても先ほどより明らかに人数が減っていた。聞くと、町内会長、民生委員の方々が市長から表彰状を受け取りしだい帰られたという。講演テーマは「地域の子育て支援」。虐待を生まない地域にしたいのでと、担当者の熱烈コールを受けていた。誰より聞いてほしい方々なのに。

▼2013年、お母さん大学は何をする？ ついカタチにしたくなる欲望をぐっとおさえ、「何もしない」と答える。ただじっと、母である自分を感じる。さらに深く感じる。それだけで、母親たちの「母力」が上がる。目を閉じ、自分が何をすべきかを考え、そしてペンを持つ。すると母親たちは、亀のようにのそのそと動き始める。恐る恐る行動する親亀、さっさっと行動してひっくり返る親亀。後ろから子亀が一緒に歩きながら、親亀を見ている。面白いことに、親亀がこけても、後ろの子亀たちはちゃんと歩いている。子どもはスゴイ！

▼今年も、お母さん大学をよろしくお願いします（藤本）

はじめての日セット

プレゼントに最適！

出産祝いやプレママへ。子育てをがんばっているお母さんや、お母様への贈物として。本とCDをセットで購入する場合は、送料無料！希望者にはメッセージカードをお付けします。

単行本
「はじめての日 ～子育てに夢を～」
発行／第三文明社
定価／1365円（税込）

ダ・カーポが歌う
CD「はじめての日」
販売／トランタンネットワーク新聞社
定価／1000円（税込）

お申し込みは、お母さん大学まで！

子育て共感賃貸住宅 HEBEL MAISON BORIKI

子育て共感賃貸住宅ヘーベルメゾン 母力ひがしとつか 入居者募集！

マイヘーベルメゾン　母力　検索
http://www.asahi-kasei.co.jp/rent/boriki/index.html/

母力ひがしとつかは敷地内に「母力の庭」「お母さんステーション」を設け、入居者イベントを開催するなど、入居者同士が子どもを見守り育み、交流できるような工夫がいっぱいです。

母力（BORIKI）は、「子育てを共感できるお母さん仲間が欲しい」「気軽にご近所づきあいがしたい」「困ったときに助け合いたい」「子育て中でも地域や社会とつながっていたい」…そんなお母さんの声を大切にし、お母さんの笑顔にこだわった、コミュニティ形成型住宅です。

2013年4月入居上旬予定！ 賃料10万～11.8万円

■所在地：神奈川県横浜市戸塚区名瀬町　■アクセス：ＪＲ横須賀線、湘南新宿ライン、東戸塚駅 バス5分　■間取り：1LDK～2LDK　全21戸
■賃料：100,000～118,000円　■広さ：50.51～58.05㎡
■入居可能日：2013年4月上旬予定　■設備：外構オートロック、モニター付インターホン、エアコン2台/戸、システムキッチン、洗面化粧台、追焚付き風呂、浴室暖房乾燥機、洗浄暖房便座、光ファイバーインターネット、開口部シャッター（1階及び206～208・306～308号室）、駐車場10,000円/台

貸主：旭化成ホームズ株式会社 集合住宅営業本部テナント企画室
募集代理店 賃貸SHOP 株式会社ニチワ
旭化成ホームズ株式会社 代理店
神奈川県横浜市西区南幸 2-16-22 金属ビル 4F
株式会社ニチワ横浜営業所
TEL045-323-2101　FAX045-323-2255
yokohama@nichiwa-realestate.co.jp
http://www.nichiwa-realestate.co.jp